

令和8年度 第4学年編入学

学生募集要項

学力選抜

出願書類受付期間 令和7年11月4日(火)～11月6日(木)

検 査 日 令和7年11月18日(火)

合 格 発 表 令和7年11月21日(金)

帰国生徒特別選抜

出願書類受付期間 令和7年10月15日(水)～11月6日(木)

検 査 日 令和7年11月18日(火)

合 格 発 表 令和7年11月21日(金)



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532

新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係

Tel : 0258-34-9434

Fax : 0258-34-9339

E-mail : kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ : <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

高等専門学校への編入学を目指している皆さんへ

高等専門学校は、中学卒業後という早い年齢段階からの、実験・実習を重視した、5年間一貫の専門的・実践的な技術教育を特徴とする高等教育機関です。

卒業後には、就職のほか、大学3年次への編入学制度などによる進学の道が開かれています。

また、高等専門学校には、卒業生（準学士）を対象に、高等教育の連続性を保ちながら、さらに高度な知識、技術の教授を目的とした、修業年限2年間の「高等専門学校専攻科」が設置されています。大学改革支援・学位授与機構が認定した専攻科の修了者は、一定要件を満たせば、同機構から「学士（工学）」の学位が与えられます。

長岡工業高等専門学校の教育理念と教育目標

長岡工業高等専門学校では、以下に示す教育理念と教育目標を掲げて、教育活動を行っています。受験に当たっては、ここに示す内容を十分にご理解ください。

教育理念

人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

教育目標

- (A) 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成
- (B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
- (C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
- (D) 工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成
- (E) 多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
- (F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
- (G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成

長岡工業高等専門学校のアドミッションポリシー

1. 求める学生像

長岡工業高等専門学校は、「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者」の育成を目指しています。そのため、本校では以下の資質や考えを持つ志願者を求めます。

- (1) 「理科、数学」が好きで、社会の発展につながる科学技術を学びたいと考えている人
- (2) 工作や「技術・家庭」が好きで、工学分野の専門知識を学び、ものづくりスキル、実践力を身に付けたいと考えている人
- (3) 多様な人々と協働できるコミュニケーション能力、問題発見・解決能力を身につけ、創造力を発揮したいと考えている人
- (4) 未来に目標を定めて主体的に学ぶ意欲があり、地域や世界で活躍したいと考えている人

2. 入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った適性を有する人材を選抜するため、次のような方針で入学者選抜を行います。

- (1) 学力選抜（調査書、英語能力、口頭試問結果及び面接結果の総合評価）
- (2) 帰国生徒特別選抜（調査書、英語能力、口頭試問結果及び面接結果の総合評価）

目 次

I	編入学を実施する学科（コース）、募集人員及び編入学年	1
II	選抜方法.....	1
III	注意事項.....	7
IV	編入学案内.....	8
V	技術者教育プログラム.....	10
VI	個人情報の取扱いについて.....	11

【参 考】

長岡工業高等専門学校	位置及び交通案内.....	巻末
------------	---------------	----

I 編入学を実施する学科(コース)、募集人員及び編入学年

学 科	募集人員	編入学年
機械工学科	若干名	第 4 学年
電気電子システム工学科	若干名	
電子制御工学科	若干名	
物質工学科 材料工学コース 生物応用コース	若干名	
環境都市工学科	若干名	

II 選抜方法

第 4 学年編入学者選抜には、学力選抜と帰国生徒特別選抜があります。

学力選抜と帰国生徒特別選抜は、別々に選抜します。

1. 出願資格及び出願要件

A. 学力選抜

第 4 学年編入学者選抜に出願できるのは、次のいずれかに該当する者です。

ア. 高等学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者

イ. 高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第 150 条に該当する者）

B. 帰国生徒特別選抜

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が高等学校に相当する課程において通算して 2 年以上の者で、帰国が令和 6 年 4 月以降の者）で、次のいずれかに該当する者とします。

ア. 外国において学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を卒業（修了）した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込み（修了見込み）の者で、外国において正規の教育制度に基づく高等学校に相当する課程で通算して 2 年以上の学校教育を受けている者

ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

イ. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を 2024 年又は 2025 年に授与された者で、18 歳に達した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに達する者

ウ. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を 2024 年又は 2025 年に授与された者で、18 歳に達した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに達する者

エ. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を 2024 年又は 2025 年に授与された者で、18 歳に達した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに達する者

帰国生徒特別選抜による編入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和 7 年 10 月 8 日（水）までに本校学生課教務入試係に電話・電子メール・郵便等により照会してください。

2. 出願手続

本校ホームページから WEB 出願システムにアクセスして WEB 出願エントリーを行い、検定料（16,500 円）及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提出されたことをもって出願完了となります。WEB 出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WEB 出願エントリーは、令和 7 年 10 月 10 日（金）から受付を開始します。

なお、令和 7 年度学力選抜及び帰国生徒特別選抜実施日（令和 6 年 11 月 19 日（火））から、令和 8 年度学力選抜及び帰国生徒特別選抜実施日の前日（令和 7 年 11 月 17 日（月））までの間において、次の①から②までのいずれかに該当する入学志願者は、検定料が免除されます。申請方法等に

については、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

- ① 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
- ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

(1) 出願書類受付期間

- A. 学力選抜：令和7年11月4日（火）～11月6日（木）17時00分必着
B. 帰国生徒特別選抜：令和7年10月15日（水）～11月6日（木）17時00分必着

出願書類は、郵送でのみ受付します。受付期間内に到着するように、出願書類を簡易書留郵便で郵送してください。ただし、海外在住で海外から出願する入学志願者は、EMS（国際スピード郵便）等の追跡が可能な方法で、受付期間内に到着するように発送してください。

※ 持参による出願書類の受付は、廃止しました。

(2) 出願書類

入学志願者は、WEB出願システムから出力される宛名票を貼り付けた角型2号封筒に次の表に示す出願書類を入れ、簡易書留郵便で郵送してください。ただし、海外在住で海外から出願する入学志願者は、出願書類を入れた封筒を、EMS（国際スピード郵便）等で発送してください。

なお、出願書類を入れる封筒は、入学志願者が用意してください。

A. 学力選抜 出願書類一覧

出願書類	摘 要
①写真票	WEB出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB出願システムにアップロードしない場合は、写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
②調査書	出身高等学校長が作成し、厳封したもの ※ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者は、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）へ問い合わせてください。
③TOEICスコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の原本	*TOEICスコア認定証 令和5年11月19日から出願時まで取得した、TOEIC Listening & Reading公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）の原本。なお、TOEIC Listening & Readingの「デジタル公式認定証」も出願書類として認めますので、「デジタル公式認定証」を出願書類とする場合は、各自で印刷して、提出してください。 ※ Official Score Certificate（公式認定証）の原本は、確認後、入学志願者に返却します。 *実用英語技能検定の合格証明書 令和5年11月19日から出願時まで取得した、実用英語技能検定の3級以上の合格証明書の原本。なお、実用英語技能検定の「デジタル合格証明書」も出願書類として認めますので、「デジタル合格証明書」を出願書類とする場合は、カナ氏名と共有キーが表示された状態の画面を各自で印刷して、提出してください。 ※ 合格証明書の原本は、確認後、入学志願者に返却します。
④返信用封筒	角型2号(240mm×332mm)を使用し、本人の住所、氏名、郵便番号を明記して、140円分の切手を貼付してください。TOEICスコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の原本の返却に使用します。なお、出願書類の③をTOEIC

	Listening & Readingの「デジタル公式認定証」又は実用英語技能検定の「デジタル合格証明書」で提出する場合は、返信用封筒を提出する必要はありません。
--	---

B. 帰国生徒特別選抜 出願書類一覧

出願書類	摘 要
①写真票	WEB出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB出願システムにアップロードしない場合は、写真（縦4 cm×横3 cm）を貼付してください。
②成績証明書 （調査書）	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。成績証明書で提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 なお、日本の高等学校に在籍した期間がある場合は、在学した高等学校長が作成した所定の「調査書」も、併せて提出してください。
③入学資格に関する証明書	最終出身学校の卒業（修了）証明書又は同見込証明書 前記Ⅱ選抜方法「1. 出願資格及び出願要件」B. のイ. ～エ. に該当する者は、該当する資格証書の写し及び最終試験科目の成績評価証明書を提出してください。
④統一試験等の成績証明書	諸外国の国家試験等（アメリカ合衆国のSAT、イギリスのGCE等）を受験している者は、その試験の成績証明書を提出してください。
⑤ TOEIC スコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の原本	*TOEICスコア認定証 令和5年11月19日から出願時まで取得した、TOEIC Listening & Reading公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）の原本。なお、TOEIC Listening & Readingの「デジタル公式認定証」も出願書類として認めますので、「デジタル公式認定証」を出願書類とする場合は、各自で印刷して、提出してください。 ※ Official Score Certificate（公式認定証）の原本は、確認後、入学志願者に返却します。 *実用英語技能検定の合格証明書 令和5年11月19日から出願時まで取得した、実用英語技能検定の3級以上の合格証明書の原本。なお、実用英語技能検定の「デジタル合格証明書」も出願書類として認めますので、「デジタル合格証明書」を出願書類とする場合は、カナ氏名と共有キーが表示された状態の画面を各自で印刷して、提出してください。 ※ 合格証明書の原本は、確認後、入学志願者に返却します。
⑥海外在住状況説明書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
⑦住民票	外国籍を有する者のみ提出してください。 （「永住者」の在留資格がわかるもの）
⑧返信用封筒	角型2号（240mm×332mm）を使用し、本人の住所、氏名、郵便番号を明記してください。TOEICスコア認定証又は実用英語技能検定の合格証書の原本の返却に使用します。なお、出願書類の⑤をTOEIC Listening & Readingの「デジタル公式認定証」又は実用英語技能検定の「デジタル合格証明書」で提出する場合は、返信用封筒を提出する必要はありません。

海外在住状況説明書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(3) 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町 888 番地

長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係

TEL : 0258-34-9434 FAX : 0258-34-9339

3. 出願手續に関する留意事項

- (1) 志望学科は、本校の5つの学科（機械工学科・電気電子システム工学科・電子制御工学科・物質工学科・環境都市工学科）の中から、1つの学科をWEB出願エントリー時に選択してください。ただし、物質工学科は、材料工学コースと生物応用コースの2つのコースがありますので、材料工学コースか生物応用コースのいずれかを選択してください。WEB出願エントリー後は、志望学科の変更（物質工学科のコース変更を含む。）を認めません。

※ 志望学科の選択に当たっては、興味・関心だけでなく、目的、適性及びこれまでの科目履修状況等から十分に検討してください。

- (2) 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に申し出てください。
- (3) WEB出願エントリーで入力した内容や出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) 外国の学校又は機関が作成した書類（成績証明書を除く。）については、必ず日本語訳を添付してください。

4. 選抜方法

(1) 選抜方法

A. 学力選抜

選抜は、以下の4つの項目を総合的に審査して行います。

- ① 調査書の内容
- ② 英語能力の換算点
- ③ 口頭試問の成績
- ④ 本校が課す「面接」の結果

調査書、英語換算点、口頭試問及び面接の配分は下表のとおりです。

調査書	※英語 換算点	口頭試問		面接
		数 学	専門科目	
50点	50点	100点	100点	10点

※ 英語能力（TOEIC スコア）の換算点について

- ① 令和5年11月19日から出願時まで取得したTOEIC Listening & Reading公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）のスコアを以下の表に当てはめ換算点とします。
- ② 令和5年11月19日から出願時まで取得した実用英語技能検定2級以上は、TOEIC スコア 600点相当、準2級はTOEIC スコア 470点相当、3級はTOEIC スコア 350点相当とみなし、以下の表に当てはめ換算点とします。

TOEIC スコア	換算点
600点以上	50点
595点～110点	49点～1点 次の計算式により換算点を算出 (TOEIC スコア - 100) × 0.1 点 ※小数点以下は切り捨てとする。
105点以下	0点

B. 帰国生徒特別選抜

選抜は、以下の4つの項目を総合的に審査して行います。

- ① 成績証明書等の内容
- ② 英語能力の換算点
- ③ 口頭試問の成績
- ④ 本校が課す「面接」の結果

成績証明書等、英語換算点、口頭試問及び面接の配分は下表のとおりです。

成績証明書等	※英 語 換算点	口頭試問		面 接
		数 学	専門科目	
50点	50点	100点	100点	10点

※ 英語能力（TOEIC スコア）の換算点について

- ① 令和5年11月19日から出願時まで取得した TOEIC Listening & Reading 公開テスト結果 Official Score Certificate（公式認定証）のスコアを以下の表に当てはめ換算点とします。
- ② 令和5年11月19日から出願時まで取得した実用英語技能検定2級以上は、TOEIC スコア 600 点相当、準2級は TOEIC スコア 470 点相当、3級は TOEIC スコア 350 点相当とみなし、以下の表に当てはめ換算点とします。

TOEIC スコア	換算点
600 点以上	50 点
595 点～110 点	49 点～1 点 次の計算式により換算点を算出 (TOEIC スコア－100) × 0.1 点 ※小数点以下は切り捨てとする。
105 点以下	0 点

(2) 口頭試問及び面接

- ① 検 査 日：令和7年11月18日（火）
- ② 検 査 場：長岡工業高等専門学校
- ③ 入室時間：8時50分～9時10分
- ④ 検査時間：9時30分～
- ⑤ 口頭試問

1人30分の口頭試問を実施します。

検査当日、口頭試問に先立って数学及び専門科目の問題を提示し、考える時間を与えます。

口頭試問中に使用できる物は、次のとおりです。

- ア. 筆記用具（黒鉛筆及びシャープペンシル）
- イ. 消しゴム
- ウ. 鉛筆削り

口頭試問の出題範囲

志望学科	科 目	出題範囲
機械工学科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
	物 理	物理基礎、物理
電気電子システム工学科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
	物 理	物理（「電気と磁気」のみ）
電子制御工学科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
	物 理	物理基礎、物理
物質工学科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
	化 学	化学基礎、化学
環境都市工学科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B
	物 理	物理基礎、物理（「様々な運動」のみ）

⑥ 面接

1人10分程度の個人面接を実施します。

※ 受験者は本校が課す口頭試問及び面接を全て受験しなければなりません。口頭試問及び面接

のうち1つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選抜の対象外となります。

なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）へ連絡してください。

5. 不正行為に該当する行為

(1) 次の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、以後の受験を認めません。また、既に受験した科目の成績を無効とします。

- ① 受験票、写真票へ故意に虚偽の記入をしたり、本人以外の写真を使用すること。
- ② カンニング（口頭試問の科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。
- ⑤ 監督者の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥ 検査時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑦ 監督者の指示に従わず、検査終了後も解答を続けること。
- ⑧ 検査前に検査が終了した他の受験者から検査に関する情報を得ること、及び検査後にこれから検査を受ける他の受験者へ検査に関する情報を与えること。
- ⑨ 検査時間中（受験者控室等での待機中を含む。）に他の者と連絡を取りあうこと。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。

- ① 検査時間中に上記(1)の⑥に挙げる補助具や電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
- ② 検査時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。
- ③ 検査に関することについて、自身が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- ④ 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 検査場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ 受験者控室又は検査室前で無用な会話をする事。
- ⑦ その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

6. 選抜結果の発表及び通知

(1) 日 時：令和7年11月21日（金）10時00分

(2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。

① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を学科別に掲示

② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を学科別に掲載

合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi/>

（注1）発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。

③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和7年11月21日（金）10時00分以降に郵送）

（注2）選抜結果は、文書による通知書が正式なものとしますので、必ず通知書で確認してください。



（合格発表ホームページ）

電話等による問合せには、一切応じません。

なお、原則として在籍又は出身高等学校長宛に、受験番号、氏名、合否結果及び合格学科名を文書により通知することとしています。この通知に同意しない場合は、WEB出願エントリー時に「同意しない」を選択してください。

7. 入学確約書の提出

合格者には、合格通知書と併せて「入学確約書」の用紙を送付しますので、必要事項を記入の上、令和7年12月5日（金）17時00分（必着）までに本校学生課教務入試係へ提出してください。

期限までに「入学確約書」を提出しない場合は、入学の意志がないものと判断します。

なお、入学手続は令和8年3月16日（月）に行います。案内は「入学確約書」を提出した者に対し令和8年2月下旬頃に行います。

Ⅲ 注意事項

1. 出願

(1) WEB 出願システムを利用する環境がない場合や、出願に必要な書類を印刷する環境がない場合は、出身学校に相談してください。対応が難しい場合は、学力選抜に関しては令和7年10月28日（火）までに、帰国生徒特別選抜に関しては令和7年10月8日（水）までに学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に相談してください。

(2) 受理した出願書類は返しません。

(3) 検定料は次の場合を除き返還しません。

① WEB 出願エントリーにて検定料を払い込んだが出願しなかった、又は出願が受理されなかった場合

② 二重に払い込んだ場合

(4) 海外在住状況説明書の様式については、本校ホームページに掲載しますので、それを利用して作成してください。

ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

2. 受験者心得

受験票に「受験者心得」が記載してあります。受験の前によく読んでおいてください。

3. 駐車場

検査場では、駐停車場所の確保が困難です。当日はバスなどの公共交通機関を利用してください。

4. 上履き

上履きは必要ありません。

5. 宿泊施設

受験のための宿泊施設の提供やあっせんは行いませんので、必要な人は各自で確保してください。

6. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」にのっとり、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の1か月前に当たる令和7年10月6日（月）を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問合せ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている①障害者手帳の種別・等級・区分認定、②適切な医学的診断基準に基づいた診断書、③標準化された心理検査等の結果、④専門家の所見、⑤高等学校・特別支援学校等の支援状況に関する資料、⑥本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教務入試係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、確認いたします。満たしていない場合は、

その理由を明示した上で再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務入試係 Tel : 0258-34-9434 Fax : 0258-34-9339

E-mail : kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

IV 編入学案内

1. 創立

本校は、国立学校設置法により昭和 37 年 4 月に設置されました。

2. 本校の特色

- (1) 充実した施設・設備を持つ国立の高等教育機関
- (2) 実験・実習を重視した 5 年一貫教育システム
- (3) 自由、自律の校風
- (4) 高い求人倍率と卒業生に対する高い評価
- (5) 大学（第 3 年次編入）及び高専専攻科への高い進学率

3. 本校の概要

別途配付しています学校案内又は本校のホームページにてご確認ください。

4. 入学年度に必要な諸経費（予定額）

- (1) 入学料 84,600円
- (2) 授業料 234,600円（年額）
※ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 教科書、教材費 約28,000円（学科により異なります。）
- (4) 後援会費 31,000円（入会金10,000円 前期13,000円 後期8,000円）
- (5) 同窓会費 15,000円（入会金）
- (6) 学生会費 10,000円（年額）
- (7) 見学旅行費 約80,000円（増額変更の可能性があります。）
- (8) 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金
1,550円（年額）
- (9) 学生証アプリ利用料 2,640円（年額）

注）入学料、授業料については、改定される場合がありますのでご了承ください。

5. 授業料免除制度等

- (1) 修学支援法（高等教育の修学支援新制度）による授業料等減免

令和 2 年 4 月から新たに修学支援新制度が始まりました。この制度は、授業料・入学金の免除又は減額（授業料等減免）、給付型奨学金の支給の 2 つの支援により、高等教育機関で安心して学んでいただくためのものです。後述の給付型奨学金を申請し、採用されることで、授業料等減免を受けることができます。

なお、令和 7 年度からは、多子世帯（扶養する子どもの数が 3 人以上）への支援が拡充され、給付型奨学金を申請し、「第Ⅰ～Ⅳ区分（多子世帯）」のいずれか、又は「（支援区分の付かない）多子世帯」に認定されると、授業料及び入学料が全額免除されます。

給付奨学金採用区分ごとの免除額

第Ⅰ区分	入学料	84,600 円	授業料	234,600 円	（全額免除）
第Ⅱ区分	入学料	56,400 円	授業料	156,400 円	（2/3 免除）
第Ⅲ区分	入学料	28,200 円	授業料	78,200 円	（1/3 免除）

修学支援法（高等教育の修学支援新制度）による授業料等減免を申請予定の場合は、入学手続前に事前に連絡をしてください。減免額審査の間、入学料、授業料については徴収猶予されません。

(2) 国立高等専門学校機構における入学料免除（以下「入学料免除」という。）

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により納付が著しく困難な場合、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額が免除されることがあります。

(3) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合、本人の申請に基づき選考の上、入学料の納付期限が延長されることがあります。

① 経済的理由により、納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合

② 入学前1年以内に、学資負担者が死亡した場合

③ 入学前1年以内に、本校に入学する者又は学資負担者が風水害等の災害を受け、所定の期日までに納付が困難であると認められる場合

(4) 国立高等専門学校機構における授業料免除（以下「授業料免除」という。）

主たる学資負担者が死亡や風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難な場合、当該事由の発生した日の属する期又は翌期に納付すべき授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

(5) 授業料徴収猶予及び月割分納

特別な事情により、授業料が納付期限までに納入できない場合又は一括納入できない理由がある場合は、本人の申請に基づき選考の上、徴収を猶予され、又は月額分納が認められることがあります。

6. 奨学金

日本学生支援機構の奨学金制度について

(1) 貸与型

日本学生支援機構等の奨学制度があります。日本学生支援機構の第一種奨学生（無利子）は、学業優秀で、かつ経済的に学資の支弁が困難で奨学金を希望する学生の中から、選考の上、推薦します。日本学生支援機構で審査の上、奨学生として採用されます。

なお、第二種奨学生（有利子）は、第一種奨学生よりゆるやかな基準となっており、第4学年以上が対象となります。

4・5年生、専攻科1・2年生

① 日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）

貸与月額 自宅通学 20,000 円、30,000 円、45,000 円

自宅外通学 20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円

② 日本学生支援機構の第二種奨学金（有利子）

貸与月額 20,000 円～120,000 円（1万円単位で金額を選択できます。）

(2) 給付型

日本学生支援機構の給付型奨学金制度は、原則として返還義務のない奨学金を支給するもので、第4学年以上の奨学金を希望する住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であり、学修意欲を有する学生の中から、選考の上、推薦します。日本学生支援機構で審査の上、奨学生として採用されます。

① 申請資格

以下の基準全てに該当する者

② 学力基準

次のいずれかに該当すること

ア 高等学校等における評定平均が 3.5 以上であること、又は入学者選抜試験の成績が入学者の上位 1/2 の範囲に属すること。

イ 高等学校卒業程度認定試験の合格者であること。

ウ ア、イに該当しない場合、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって、進学しようとする学修意欲を有すること。

※ ウについては、学修意欲を確認するためのレポート書類を書いてもらいます。

③ 家計基準

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であること

JASSO のホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」で、収入基準に該当するかどうか、具体的に確認できますのでご利用ください。

進学資金シミュレーター

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

④ 給付額

世帯の所得金額に基づく区分に応じて、下表の金額（月額）が給付されます。

区分	自宅通学（※1）	自宅外通学
第Ⅰ区分	17,500 円(25,800 円)	34,200 円
第Ⅱ区分	11,700 円(17,200 円)	22,800 円
第Ⅲ区分	5,900 円(11,100 円)	11,400 円
第Ⅳ区分（※2）	4,400 円（6,500 円）	8,600 円

※1 生活保護世帯の人及び進級後も児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。

※2 「第Ⅳ区分」は多子世帯に限ります。

⑤ 給付期間

修業年限の終期まで

日本学生支援機構の奨学金の他、民間育英団体等の奨学金があります。募集については都度、掲示等で周知します。

7. 卒業後の進路

(1) 就職

本校の卒業生に対し、県内、県外の企業から多数の求人があり、ほぼ 100%の就職率を誇っています。

(2) 高等専門学校専攻科への入学

高等専門学校卒業後、高専教育の連続性を保ちながら、さらに高度な知識、技術の習得を希望する者は、修業年限 2 年間の「高等専門学校専攻科」に出願することができます。専攻科修了者は、一定要件を満たせば、大学改革支援・学位授与機構から「学士（工学）」の学位が与えられ、大学の学部卒業と同等の資格を持って、就職や大学院への進学が可能になります。専攻科は、現在、全ての国立高専に設置されています。

(3) 大学への編入学の状況

本校を卒業し、より高度な勉学を志す者のために、長岡技術科学大学を始めとする国公立大学（主として理工系）の第 3 学年への編入学の道が広く開かれています。例年、本校卒業生の約 6 割が高専専攻科入学か大学編入学により進学しています。

V 技術者教育プログラム

本校は、平成 16 年 4 月に、日本技術者教育認定機構（JABEE、Japan Accreditation Board for Engineering Education; <https://jabee.org/>）の基準に対応するための技術者教育プログラム（生産システム・環境工学プログラム）を設定し、認定を受けています。

この教育プログラムは、本校の第 4、5 学年と専攻科第 1、2 学年の 4 年間のカリキュラムで構成されており、4 つの学年に在籍する全ての学生を対象としています。

生産システム・環境工学プログラムについての詳細は、本校のホームページをご覧ください。
(<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/college-info/eep/>)

卒業後に本校の専攻科に進学する学生は、JABEE 認定プログラムの修了者としての資格を取得するために、次の3項目の全てを満たすことを目標に学習します。

- ① 本校専攻科の修了
- ② 大学改革支援・学位授与機構からの「学士（工学）」の取得
- ③ JABEE 認定技術者教育プログラムの修了

VI 個人情報の取扱いについて

本校では「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」に基づき、保有している個人情報について以下のとおり適正に取り扱います。

1. 本校で個人情報を保有するに当たっては、法令の定める業務を遂行するための必要な場合に限ります。
2. 本校が個人情報を取得する場合は、本人に対し利用目的を明らかにして取得します。
3. 本校で保有している個人情報は、厳正な管理下で安全に保管します。
4. 本校が保有する個人情報について、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために自らが利用し、又は第三者に提供することはありません。

なお、入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報や、WEB 出願システムで入力した情報に加え、選抜に用いた学力検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究